

# 環境県民フォーラムだよ！

VOL. 47 2021年10月15日 発行



## 新たな奈良県環境総合計画、始動！

「奈良県環境総合計画」をご存じですか？

この計画は、社会や経済の情勢変化に対応しつつ、誰もが安心して快適に暮らすことができる持続可能な地域づくりを進めるため、景観・環境面から、県民、NPO、企業・団体、行政などの様々な主体が積極的に連携・協力し、中長期的に取り組む指針として、奈良県環境基本条例第10条などに基づき、奈良県が示しているものです。

今年3月、前計画が2020年度で期間満了となったことに伴い、新たな奈良県環境総合計画が策定されました。2021年度から2025年度まで適用される新たな環境総合計画の気になる内容について、簡単にご紹介します！

### 目指す環境像

新たな奈良県環境総合計画では、私たちが目指すべき未来の奈良県の姿を次のように掲げています。

#### ～私たちが目指す奈良県の姿～

澄んだ空に、雄大な山並みと手入れの行き届いた森林の緑が映えます。山間部の自然は、きれいな空気をつくり出し、山々に蓄えられた水は、川から海へと、清らかで豊かな水流となって、人々を潤し、さまざまな生物を育てています。

大和青垣や大和三山などの山々は、里山・田園風景と相まって、都市の遠景となり、世界遺産や国宝などの歴史的建造物の背景となって、まほろばの国にふさわしい美しいたたずまいを形づくっています。

まちなかは、花と緑にあふれ、歴史的風土と調和のとれた美しい都市景観と沿道景観に、住む人、訪れる人が和らぎを感じます。

パリ協定が目標とする温室効果ガス排出実質ゼロに向けて、本県の豊かな「森林資源」や「自然エネルギー」を最大限活用しながら、「創エネ」「蓄エネ」「省エネ」の取組が相乗的に図られ、持続可能な脱炭素社会の仕組みの構築が進んでいます。

人々は、地球環境に配慮する知恵や行動力にあふれ、これからの時代に求められる「きれいに暮らす」スタイルを追及、共有しながら、主体的かつ積極的に本計画が掲げる基本理念の実現に向けて取組み、多様な主体が連携・協働する“オール奈良”によって全県的な実践活動へと広がっています。



※



※



※



※

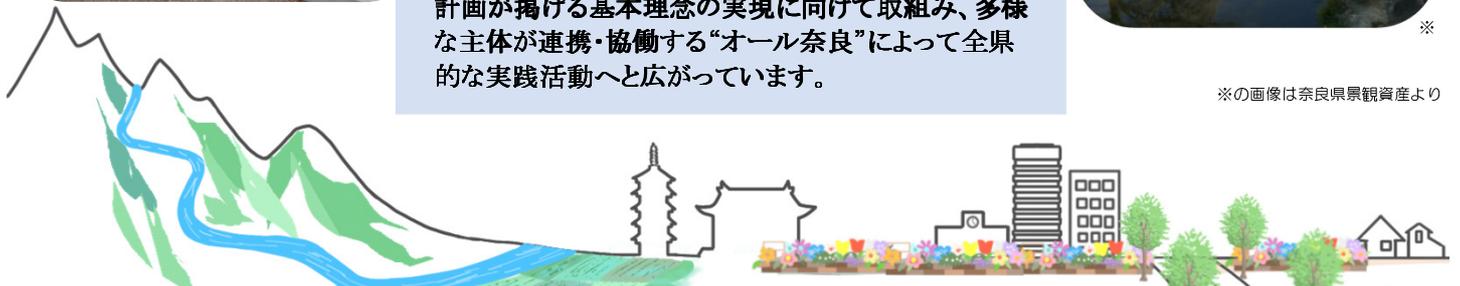


※



※

※の画像は奈良県景観資産より



## 基本理念

本計画では、大気、水、騒音、廃棄物などの「生活環境」、森林、河川や生物多様性などの「自然環境」、身近な緑やまちなみなどの「快適環境」のほか、これらと相互に関連する「地域環境」や「地球環境」を対象としています。その上で掲げる基本理念は次の通りです。

奈良ならではの「豊かな自然と歴史との共生、美しい景観と持続可能な暮らしの創生を目標に、「奈良新『都』づくり戦略2020」（令和2年2月策定）を旗印として、自然・景観・生活環境など環境分野に係る施策を総合的に展開させることにより、愛着と誇りの持てる「きれいに暮らす奈良県スタイル」の構築・定着を目指す。また本計画では、2050年までに二酸化炭素等の温室効果ガス排出実質ゼロにする脱炭素社会の構築を目指す。

## 施策体系

環境像や基本理念の実現に向けて総合的・計画的に推進するため、計画では施策の8本柱を掲げています。奈良県環境県民フォーラムも、この8本柱による施策の推進にあたり、様々な分野で大切な役割を担っています。

きれいな環境の中で、誰もが快適に暮らせる理想の奈良県を目指し、オール奈良による本計画の新たな取り組みは、今始まったばかりです。

### 施策体系（8本柱）の概要



各柱のSDGs（持続可能な開発目標）における位置づけは以下の通りです。

出典：国際連合広報センターWEBサイト

#### 1. 森林環境の維持向上

森林と人とが良好な関係を築きながら、森林が県民の貴重な財産として引き継がれることを目指します。



#### 2. 健全な水循環の構築

河川等の水質の改善、きれいな水辺空間づくりなど、源流・上流域から中・下流域まで、「健全な水循環」の視点で一体的に取り組みます。



#### 3. 景観の保全と創造

歴史文化遺産や豊かな自然と共に、四季折々に彩られる景観を守りながら、国際的な歴史文化交流拠点としてふさわしい景観を創り育て、未来に繋げます。



#### 4. 脱炭素社会の構築

2050年までに温室効果ガス排出実質ゼロを目指し、再生可能エネルギーの利活用を図ると共に、「奈良の省エネスタイル」の定着や、二酸化炭素の吸収源となる森林の適切な整備・保全に取り組みます。



#### 5. 循環型社会の構築

県民一人ひとりが日々の暮らしの中で、資源やエネルギーを大切にする「環境に配慮したライフスタイル」の促進を図ります。



#### 6. 安全な生活環境の確保

心身共に健康で、快適・安全・安心な暮らしができるよう、私たちの身の回りを取りまく生活環境を保全するための対策を講じます。



#### 7. 生物多様性の保全

豊かな生物多様性の恵みを将来の世代に引き継いでいくため、「生物多様性なら戦略」に基づき、多様な主体と協働して良好な自然環境を保全します。



#### 8. 人づくり・地域づくりの推進

景観・環境づくりを推進するために、多様な主体が互いに連携・協力するパートナーシップの形成を促進し、参加と協働による取り組みを推進します。



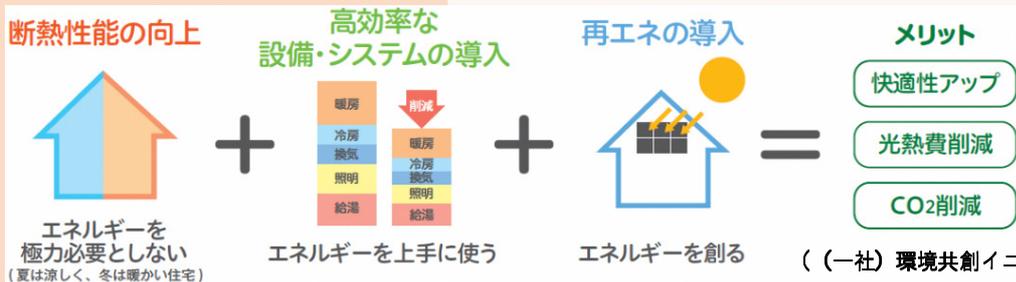
# エネルギー 分科会

## 省エネ住宅の動向について

家庭の省エネというと、スイッチの切り忘れ防止や待機電力の削減等の使い方の省エネや高効率機器（省エネエアコン・LED照明等）の導入によるイメージが強いですが、近年国は住宅自体の省エネ性能を高めた省エネ住宅の普及に力を入れています。

住宅の省エネ性能とは、外気に接している部分（床・外壁・天井又は屋根・窓等）の断熱性能の事です。住宅全体の断熱性能を魔法瓶のように高めると、冬は家の中の熱が外に逃げにくくなり、夏は外の熱が家の中に入りにくくなり、冷暖房時のエネルギー消費を削減することができます。

「断熱性能等の大幅な向上に加えて、高効率機器によってエネルギー消費を大幅に減らし、それに相当する量の創エネ（太陽光発電等）を導入することにより、年間で「使うエネルギー」より「創るエネルギー」が多くなる住宅」をZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス、略称『ゼッチ』）と呼び、国は普及促進の補助事業を実施しています。（既築住宅の断熱リフォームに対する補助事業も実施されています。）

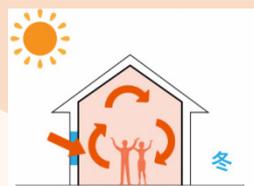


令和元年度からは家庭用燃料電池（エネファーム）の売電分も創エネ効果として評価されることになり、屋根面積の制約で十分な発電量の太陽光パネルを積載できない場合等にも、これを補填できるようになりました。今後、住宅の新築・改築のご予定のある場合、ご参考にして頂ければ幸いです。

※国の補助事業は、何れも令和3年度現在の情報です。

(分科会座長 大阪ガス 真鍋)

## 【冬の比較例】 (環境省HPより)



【断熱性が高い】  
熱が逃げにくく、家全体の室温が高く保たれる  
【日射取得生が高い】  
太陽の熱で家全体が暖められる



【断熱性が低い】  
熱が逃げやすく、家全体の室温が低くなる  
【日射取得生が低い】  
太陽の熱が入らず、もったいない。

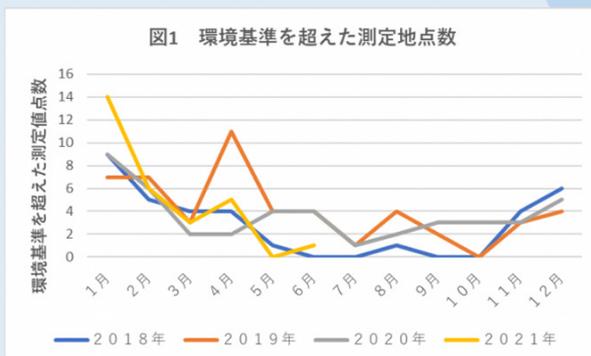
## 大和川の水質改善について

大和川の水質汚濁の原因の72.8%が生活用水に起因すると言われています。（大和川地域環境協議会 平成25年データ）

生活排水処理は、下水道等による集合処理と、浄化槽による個別処理に分かれています。主に下水道は人口密集地域に、浄化槽はそれ以外の地域に経済的に向いているといわれています。浄化槽は、さらに単独浄化槽（水洗トイレの処理）と合併浄化槽（トイレの他、台所、風呂、洗面、洗濯排水を一括処理）に分かれます。単独浄化槽では、生活排水の内トイレ以外の排水が未処理のまま公共用水路に流れるため合併浄化槽の8倍の汚染物質が排出されると言われています。

浄化槽の内、単独浄化槽の比率は全国で50%（平成30年末）の実績で、奈良県は62.7%で全国ワースト4位と合併浄化槽への切り替えが遅れています。大和川の水質も、下水道の普及、合併浄化槽の普及により水質の大幅な改善がなされ、生活環境の改善と、公衆衛生の質の向上が図られてきました。

大和川の本川及び支川の52地点の測定値は「大和川水質マップ」（奈良県HP）に詳しく掲載されています。そのデータを用いて、環境基準（BOD：5mg/L）を超える測定値が出た地点の数を調べた結果を図1に示します。



出典：奈良県大和川水質マップより編集  
測定点合計 52地点 環境基準：5 mg/L



大和川水質マップHP  
<http://www.eco.pref.nara.jp/yamatogawa/>

BODの値はその月の降水量と関係があり、10月から2月にかけての渇水期にはBOD値が環境基準を超える地点が増えています。環境基準が達成されていない支川は、重点対策支川として奈良県で指定され、対策が検討されているところです。（8支川：土庫川、葛城川、高田川、岡崎川、三代川、富雄川、菩提川、菰川）この地域における単独浄化槽の合併浄化槽への転換が進みさらなる大和川の水質改善が進むことを願っています。

(分科会座長 奈良環境カウンセラー協会 橋本)

# エコライフ 分科会

## 循環型社会の課題について

海洋プラスチックごみは、現在のペースが続くと2050年には、魚の量を超過すると推定されています（2016年ダボス会議）。

昨年7月よりレジ袋の有料化が法制化され、8割以上の方がマイバックを持参されたり、レジ袋を辞退されるようになりました。しかし、家庭内のプラスチックは、ペットボトル・食品トレーに各種包装容器やポリ袋・発泡スチロールなど沢山使用されています。奈良県には海はありませんが、海に浮かぶゴミは県内の河川からも流れだしています。そして、マイクロプラスチックなど、海洋プラスチックの問題は私たちに直結した問題です。



▲H30.3 見学会（株式会社リバース）  
回収された牛乳パック



▲H30.10 環境にやさしい  
買い物キャンペーン

また、食品ロスの問題も、平成30年度では、日本での可食部分と考えられる廃棄物の量は600万トン、一人当たり47Kgと推定されています。その他にも紙や家電商品などの身近なテーマであるゴミの削減やリサイクルは、循環型社会の重要な課題です。

資源活用分科会ではこれらの問題を認識し、3Rに基づくごみの減量やリサイクルへの取組み・仕組みを、県内外の地域・行政・企業・NPO法人などを対象に現地での見学や学習を行い、情報交換や知識を広め各団体や家庭での活動に活かしています。また、街頭キャンペーンを通じて県民との交流を通じて（ゴミゼロ生活）への意識を高めたいと考えています。

（分科会座長 イオンリテール(株)イオンスタイル奈良 桐山）

### 《関連指標》

奈良県環境総合計画2021-2025より抜粋 ※この目標値は、令和4年度に策定する県廃棄物処理計画により見直す予定です。

指標設定の趣旨	指標項目	現況値 R1(2019)	目標値 R7(2025)	小施策	
ごみの減量化を 評価する指標と して活用	ごみの 排出量	一人1日あたりのごみの排出量(一廃)	898g/人・日 [H30(2018)]	865g/人・日* [R4(2022)]	廃棄物の排 出削減
		産業廃棄物排出量	1,474千t [H27(2015)]	1,430千t* [R4(2022)]	
	認知度	食品ロス問題をよく知っている人の割合	37.4%	90%(R6)	
	リサイ クル率	一般廃棄物	16.3% [H30(2018)]	23.0%* [R4(2022)]	廃棄物の循 環利用の 促進
産業廃棄物		42.1% [H27(2015)]	42.1%* [R4(2022)]		

## 自然環境セミナー「菜の花と橘で結ぶ記紀万葉の道めぐり」について

3月7日（日）、奈良追分コミュニティ・奈良県環境県民フォーラム自然環境分科会主催の自然環境セミナー「菜の花と橘で結ぶ記紀万葉の道めぐり」を開催しました。雨降りが危ぶまれましたが、幸いなことに当日は素晴らしい天気にも恵まれ、約50名の参加者がありました。

霊山寺に集合し、まずは、宙塾の黒飛氏が霊山寺の案内をしました。その後本堂前で、各団体の代表から霊山寺官長の東山光秀氏に菜種油が奉納されました。

その後、霊山寺を出発して、追分梅園までウォーキング。約20分で到着し、菜の花が並べられ、橘が植栽されたOIWAKE PARKのウッドデッキで、黒飛氏から「菜の花プロジェクトと追分周辺の歴史」を紙芝居でお話いただきました。

「橘、夏ミカンの歴史・栽培・製品化」については、奈良追分コミュニティのメンバーである「O-LIFE」の吉本氏から説明がありました。「追分梅林の歴史」については、追分梅園組合の村井理事長から説明がありました。お話の後は観梅会に参加し、昼食。

そして、梅園を出発して奈良県立矢田自然公園の子供の森まで再びウォーキング。到着後は森づくりならクラブの理事長による「森のお話」の後、子どもたちは、木工体験。丸太切りをして、さらに切った木を磨いてコースターを作りました。（分科会座長 NACS-J自然観察指導員奈良連絡会 有山）



▲霊山寺に菜種油を奉納



◀追分梅林で、菜の花プロジェクトや追分周辺の歴史を紙芝居で説明



木工体験の様子▶



## 自然環境 分科会

# 「やまと菜の花ねっと」

## ～菜の花だより・橘だより～

### 奈良追分コミュニティ

4月10日(土)、天空の里追分で、菜の花まつりを開催しました。当日は、奈良ストップ温暖化の会、奈良まほろばシェアリングネイチャーの会など、約150名の方が参加。会場は、菜種油を使った菜の花天ぷらのふるまい、大和橘のシフォンケーキやクッキーの販売などで賑わい、子ども達は、NIZIUダンスや、凧揚げ、自転車発電などを楽しんでいました。また、視覚障がい者の演奏家「万華鏡」の演奏は、菜の花や大和青垣をバックに、インスタ映えしていました。



▲晴天の下、満開の菜の花に囲まれて



▲インスタ映えした「万華鏡」の演奏

### 山の辺の道ファンクラブ

4月に菜の花が咲き終わり、菜種を5月下旬に刈取りをして、乾燥後の6月5日(土)の朝から、会員の皆様と天理市内の児童らを交え、脱穀作業を行いました。児童たちは昔ながらの脱穀機(発動機で駆動)を使用する作業に興味深く観察していました。

皆さんの汗ばむ作業のおかげで前年度よりも約30kgも多く105kgの種を収穫する事ができました。



▲子どもたちと脱穀作業



▲脱穀機での作業に興味津々

### 橘プロジェクト

(活動団体：なら橘プロジェクト推進協議会)

「橘プロジェクト」が今年で10年目を迎えました。奈良市や大和郡山市で始まった橘の植樹数は、今では約3000本となっています。特に、柑橘類の栽培に適した山の辺の道沿いでは順調に生育し、果実の収穫量は県内で1トンを超えてきました。

また、県内の神社やお寺での植樹も広がりました。お寺では、西大寺清浄院・法華寺・大安寺・元興寺・橘寺・唐招提寺・興福寺・法隆寺・東大寺、神社では菅原天満宮・薬園八幡神社・奈良県護国神社・穴師坐兵主神社・等彌神社・手向山八幡宮など、数十か所になります。古来、橘にゆかりのある寺社も多く、どの寺社からも植樹を大変喜ばれています。

今後も、香り高い大和橘の植樹や栽培を続けていきたいと思えます。



▲橘の植樹した寺社は数十か所に

### 葛城フィールド

(活動団体：エコ葛城市民ネットワーク)

今年度は、菜の花プロジェクトをテーマとした「出前講座」を市内小学校において実施しています。

5月には、新庄、忍海、磐城小学校で「菜種の刈り取り」を行いました。児童たちは自分のハサミを使って一杯枝を切るなど、楽しんでいました。

雨で中止となった新庄北、當麻小学校では、冊子を使った環境教育と、予め刈り取っていた菜の花に触れる授業を行いました。菜の花のサヤを初めて触る児童が多く、興味津々に見入っていました。

6月には、NPOが刈り取りした菜の花の「種落とし・搾油」を児童たちが体験しました。



▲今年も行われた出前講座



▲小学校で搾油体験

新型コロナウイルスにより延期等の影響も出ていますが、市役所、NPO、小学校が連携し、工夫しながら実施しています。

## 奈良フィールド (活動団体：大和の国・菜の花エコプロジェクト事務局NPO法人宙塾)

新型コロナウイルスの影響で、4月の菜の花祭りは中止されましたが、鼓阪小、鼓阪北小、東市小では予定通り6月の脱穀作業を行い、各々10kg、15kg、10kgの収穫がありました。昨年よりどこも豊作です。上記の小学校は東大寺・春日大社・興福寺など市内の世界遺産の社寺に奉納します。



▲富雄北幼稚園にて脱穀体験

一方六条幼稚園、富雄北幼稚園は2学期以降に搾油作業をします。六条幼稚園では毎年8月23日に、自分たちで前年度育て搾油した菜種油を元興寺に奉納し、「地藏会万燈供養」の灯明油として使われています。写真は今年の様子です。また11月8日には薬師寺と唐招提寺に奉納予定です。



▲六条幼稚園児が元興寺に菜種油を奉納

## 桜井フィールド (活動団体：さくurai菜の花プロジェクト)



今年のコナネは、圃場が大幅に減少したにもかかわらず県内全体で681.5kgの収穫量というまずまずの出来でした。

また、本年より「奈乃葉菜油」の瓶をひと回り小さく(200g入り)して、ラベルも色合いを変えてみました。ただ、搾油・乾燥・選別他、全て値上がりしているため、豊作なのにボランティア活動には痛手です。

8月29日には昨年に引き続き今年も、ならコープの菜種油をつかったドレッシングづくりのオンライン講習で講師を務めました。

◀コンパクトになった『奈乃葉菜油』

▶菜種油でドレッシングづくりの講習



## 奈良県環境トピックス

### 燃料電池自動車MIRAI 奈良県に寄贈

今年4月、県内初の水素ステーションが奈良市大安寺に開設されたことを記念し、7月27日に奈良県オールトヨタより、地域貢献の一環として、「燃料電池自動車MIRAI」が県に寄贈されました。

燃料電池自動車は、酸素と水素の化学反応による電気で走行し、発生するのは水(水蒸気)のみという期待のエコカー。今回寄贈された「MIRAI」も、公用車として活用されると共に、県内の環境イベントに出展されるなど、県の環境普及啓発の一翼を担います。



寄贈式の様子。当日の晴れやかな青空を映したかのような「MIRAI」の姿が、奈良県オールトヨタの代表取締役社長や奈良県知事の出席の下、お披露目されました。



### 賛助会員募集

奈良県環境県民フォーラムでは賛助会員として活動をご支援いただける企業、団体等を募集しています。

#### 特典

1. 広報誌「フォーラムだよ!」等刊行物をお届けします。
2. ホームページに随時氏名(ご希望の方)を掲載いたします。
3. 主催事業(省エネクッキングなど)に優先的にご参加いただけます。

ご寄付ありがとうございました  
(令和2年度)

市民生活協同組合ならコープ様  
イオンリテール株式会社近畿カンパニー様  
イオンリテールストア株式会社  
近畿カンパニー様